

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクルール今事業所		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供が出来ている。	余暇・作業・集団活動・運動の4つの活動をスケジュールに沿って行っている。	各活動において、マンネリ化しないように新しいものを取り入れたりバージョンアップを図るように常に意識をしている。
2	利用者や保護者に対して、高等部卒業後の就労を意識させながら、全職員がその意識を持って日々支援が出来ている。	利用者や保護者へ適切なアドバイスができるように支援学校との連携やA型・B型事業所・就労移行支援事業所等への見学など、積極的に情報収集を行っている。	事業所見学の回数をもう少し増やす。
3	利用者個々の強みや課題が誰が見てもわかる独自の『モニタリング管理表』を使って保護者や利用者へフィードバックを行っている。	モニタリング管理表の項目をそれぞれの4つの活動と5領域に関連させ、さらに個別支援計画書ともリンクさせている。	モニタリング管理表の評価項目の内容を普段の支援の内容とさらに合致させたものへ改訂していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりや交流がほとんどない。	現在の活動プログラムにおいて、外部との交流による活動を盛り込んでいないため。	利用者の社会性を高めるアクションについて利用者や保護者のニーズを踏まえて事業所内で検討したい。
2	保護者同士の交流の機会があまり多くない。	保護者研修会、夏季イベント、保護者参観を実施することで保護者の交流の場を提供できていると考えているが、保護者ニーズと合致していないことが考えられる。	保護者同士の交流の機会に関する保護者へのヒアリングやアンケート調査を行い、事業所として対応可能な範囲で提供の場を増やせるようにしていきたい。
3			